



本の広範囲に及ぶことが予想されることから、早期復旧を図るためにはより全国規模、大規模な応援体制が必要となります。

これに伴い、車両を含む復旧要員の迅速な移動、復旧活動の拠点となる場所や宿泊施設の確保、食料の確保、復旧資機材の物流といった課題があります。また、直近では新型コロナ対策も考えねばなりません。

各ガス事業者ではこういった課題に対して事前準備を進めておりますが、いざという時には各団体のご協力を頂戴できればと考えております。



<日本ガス協会 URL>

<https://www.gas.or.jp/>

## (2) 日本気象協会

### ①懸念・課題として考えていること

当協会では、降雨災害や土砂災害の恐れを事前にキャッチした際には、『速やかな初動体制の構築と、初動対応の遅れによる2次被害の拡大の抑制』や『避難行動へのトリガー』を目的に情報を配信しています。

また、地震災害を含む様々な気象災害が発生した際には、まずは発災現地に赴き、被災状況の確認を行うことで、現状の確認と科学的な原因の推測を行い、被害を最小限に抑える事への検証を行っています。同時に、『発災後の大雨や土砂災害、熱中症等による2次的気象災害の発生』を抑制する観点から、災害復旧作業に役立つ気象情報の配信を行っており、速やかな復旧への一助になればと考えております。

南海トラフ地震の発生予測は難しいですが、気象は唯一、物理学的手法によって未来を予測できるものであり、2次的気象災害の発生抑制のため、速やかに情報配信を行います。

### ②各業界にお願いしたいこと

当協会が扱っているものは、気象に関するデータです。よって、参画団体様とは毛色が異なり、業界を上げて一斉に直接役立つ物資援助ができるという事ではありません。また、組織も小さいため出来る人道支援もわずかです。しかし、単一組織であることや全国に事務所を構え、リスク分散しているという利点を最大限活かし、皆様の支援活動がスムーズとなるようなサポートが出来ればうれしく思います。よって、どのような時にどこに情報が欲しい、といったご要望をお聞かせいただけますと、事前に少しでもご準備が出来ると考えております。

### ③中部防災推進ネットワークへの期待

当地方において、有事の際に何かお役に立ちたいと考えています。各業界の垣根を越えたご要望を集約して頂き、ご要望に対して何が出来るかを検討していければと考えています。



<日本気象協会 URL>

<https://www.jwa.or.jp/company/>

---

## 2. 本ネットワークの参画団体からのお知らせ (防災イベントの予定等)

---

### (1) 事業継続推進機構 BCAA

#### ○イベント名

10月度月例オープン勉強会

#### ○開催日時

2021年10月28日(木) 14:00~16:15

#### ○開催場所

オンライン開催(Zoom)

#### ○概要

企業の取り組み事例や、「事業継続力強化計画」の概要や支援の事例について

#### ○URL

<http://www.bcao.org/seminar/104.html>

(2) 名古屋大学

○イベント名

第31回特別企画展「災」を今に伝える場所を「Seeing」  
「災と Seeing」

○開催日時

2021年11月3日(水)～2022年3月31日(木)

○開催場所

オンライン開催(減災館 Web ページ)

○概要

各地に残される災害を今に伝える場所(石碑、史跡、  
名所など)を巡りながら、災害への備えについて改め  
て考える機会を提供する。

○URL

<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/>

(3) 日本損害保険協会

○イベント名

ぼうさいこくたい 2021

○開催日時

2021年11月6日(土)～11月7日(日)

○開催場所

釜石およびオンライン

○概要

「ぼうさいこくたい」は、内閣府等が主催するご家族  
連れから専門家まで幅広い方が学ぶことができる日  
本最大級の防災イベントです。6回目を迎える今年は、  
東日本大震災からの10年を振り返るとともに、これ  
からの復興と防災のあり方を考え、震災の経験と教訓  
を多くの方々へ、そして、未来へ「つなげる機会」に  
したいと考え、「～震災から10年～ つながりが創る  
復興と防災力」をテーマにしています。

○URL

<https://bosai-kokutai.jp/>

※上記イベントの中で、日本損害保険協会では、11月7  
日(日)12:30～14:00にパネルディスカッションを

実施します。概要・申込は以下 URL から。

[https://s.mxtv.jp/10years\\_densho/](https://s.mxtv.jp/10years_densho/)

#### (4) 中部経済連合会

○イベント名

【会員限定】企業防災委員会 防災講演会「気候変動により変わる水災害対策～流域治水対策を中心として」

○開催日時

2021年11月10日(水) 14:30～15:45

○開催場所

オンライン開催(Microsoft Teams)

○概要

企業防災委員会では、企業の自発的な防災減災対策の促進や、BCP/BCMへの取り組みに役立つ情報提供を目的として、全会員を対象とした防災講演会を開催します。

○URL

<https://www.chukeiren.or.jp/news/p14083/>

#### (5) 愛知県

○イベント名

あいち防災フェスタ

○開催日時

2021年11月14日(日) 10:00～16:00

○開催場所

あいち健康の森会場とオンラインの併用

○概要

家具の転倒防止対策を推進するとともに、防災啓発活動や災害時のボランティア活動を紹介することにより、防災知識の普及及び防災意識の高揚を図る。

#### (6) 愛知県トラック協会

○イベント名

令和3年度 災害物流専門家研修

○開催日時

2021年11月24日(水)～25日(木)

○開催場所

愛知県トラック会館(名古屋市瑞穂区)

○概要

大規模災害時において、災害物流の専門家の見地から自治体に対し、適切な助言を行うことができる「災害物流専門家」を育成するため開催いたします。(一般の参加・見学は不可。)

(7) 名古屋商工会議所

○イベント名

BCP 策定ワークショップ

○開催日時

2021年11月24日(水) 14:30~17:00

○開催場所

名古屋商工会議所 5階会議室 ABC (名古屋市中区栄2-10-19)

○概要

BCP(事業継続計画)は、非常事態における業務の停止や被害を最小限に抑え、中核となる事業の「早期復旧」を可能とするため、平時に策定しておくべき計画です。本ワークショップでは約3時間の講座でBCPの策定を目指します。

○URL

<https://www.nagoya-cci.or.jp/event/event-detail.html?eid=3285>

(8) 岐阜県

○イベント名

げんさい楽座

○開催日時

2021年11月29日(月) 19:00~20:30

○開催場所

オンライン

○概要

げんさい楽座は、専門家と一般参加者が防災・減災について語り合い、防災・減災への関心を深め、知識を得るとともに、参加者同士が意見交換を行う交流の場です。今回のげんさい楽座では、目に見えない災害リスクにどう向き合えばいいのか、岐阜県関ヶ原町が抱える地震のリスクを例に考えます。

○URL

<https://gfbosai.sakura.ne.jp/web/>

---

### 3. 編集後記（事務局・協力団体のひとこと）

---

中部防災推進ネットワークに協力団体として参加しております、三重県防災対策部災害対策課の■■■■と申します。

令和3年度は、平成23年9月に紀伊半島を中心に甚大な被害をもたらした「紀伊半島大水害」から10年の節目となります。これを踏まえて、三重県では今年度「紀伊半島大水害10年プロジェクト」を実施していますので、今回はこのプロジェクトについてご紹介いたします。

「紀伊半島大水害10年プロジェクト」とは、災害の記憶を風化させることなく、教訓を伝承し、地域全体の災害対応力向上を図ることを目的としており、大きく3つの事業で構成しています。

1つ目は6月に実施した「紀伊半島大水害10年ワークショップ」です。被災された住民や当時、災害対応にあたった県・市町の職員、防災関係機関の皆さまに参加いただき、紀伊半島地域における10年間の復興や防災・減災対策の取組について意見交換を行いました。

2つ目は9月に実施した「紀伊半島大水害10年シンポジウム」です。紀伊半島大水害を振り返り、教訓や課題を県民の皆さまと共有し、風水害から身の安全を守るために何ができるかを考えることで防災意識の向上を図りました。

3つ目は防災訓練です。三重県では、毎年度防災訓練を実施していますが、令和3年度は紀伊半島大水害の教訓を踏まえ、初めて風水害を対象とした訓練となっています。

まず、9月に「令和3年度三重県総合図上訓練」を実施し、地域防災計画や三重県版タイムラインに基づき、台風上陸前の事前対策や通過後の被害への対応を行いました。

11月14日には「紀伊半島大水害10年防災訓練」

を予定しています。東紀州地域を会場として、ワークショップで明らかになった課題への対応を取り入れた訓練を市町や各関係機関と連携して行い、対応について検証します。

プロジェクトを実施して終わりではなく、成果や見えてきた課題について、災害対策本部関係のマニュアルに反映するなど、今後の対応に生かすことで、災害対応力の向上を図っていきます。

今後も中部防災推進ネットワークの皆さまと防災・減災対策について共有していきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

